

万田31号の使用方法（標準）

果菜類 < ナス >

使用時期	使用濃度 (希釈倍率)	使用回数	使用方法	使用目的
播種後	10,000倍	1回	かん水	発芽促進
本葉が出てから	10,000倍	7~10日おき 1~2回	葉面散布	根張り促進、初期生育促進 環境ストレスの耐性向上
定植時	10,000倍	1回	かん水	活着促進
定植後 ~	10,000倍	7~10日おき 1~2回	葉面散布	生育促進 環境ストレスの耐性向上
収穫開始 ~	8,000倍	10~15日おき 定期使用	葉面散布 かん水	品質と収量の向上 環境ストレスの耐性向上

散布量は、10a当り150g(収穫期)を基準としています。

★本使用方法是、環境条件によっては、多少の変更が必要となります。

★万田31号は、特殊肥料ですが、必要とする肥培管理などは十分に徹底して下さい。

★台風などで草勢が弱っている時には、5,000倍液を1~3日置きに2~3回連続散布する方法があります。

万田31号の使用方法（標準）

果菜類 < トマト、ミニトマト >

使用時期	使用濃度 (希釈倍率)	使用回数	使用方法	使用目的
播種後	10,000倍	1回	かん水	発芽促進
本葉が出てから	10,000倍	7~10日おき 1~2回	葉面散布	根張り促進、初期生育促進 環境ストレスの耐性向上
定植時	10,000倍	1回	かん水	活着促進
定植後 ~	10,000倍	7~10日おき 1~2回	葉面散布	生育促進 環境ストレスの耐性向上
収穫開始 ~	8,000倍	10~15日おき 定期使用	葉面散布 かん水	品質と収量の向上 環境ストレスの耐性向上

散布量は、10a当り150g(収穫期)を基準としています。

★本使用方法是、環境条件によっては、多少の変更が必要となります。

★万田31号は、特殊肥料ですが、必要とする肥培管理などは十分に徹底して下さい。

★台風などで草勢が弱っている時には、5,000倍液を1~3日置きに2~3回連続散布する方法があります。

万田31号の使用方法（標準）

果菜類 <ピーマン>

使用時期	使用濃度 (希釈倍率)	使用回数	使用方法	使用目的
播種後	10,000倍	1回	かん水	発芽促進
本葉が出てから	10,000倍	7~10日おき 1~2回	葉面散布	根張り促進、初期生育促進 環境ストレスの耐性向上
定植時	10,000倍	1回	かん水	活着促進
定植後 ~	10,000倍	7~10日おき 1~2回	葉面散布	生育促進 環境ストレスの耐性向上
収穫開始 ~	8,000倍	10~15日おき 定期使用	葉面散布 かん水	品質と収量の向上 環境ストレスの耐性向上

散布量は、10a当り150g(収穫期)を基準としています。

- ★本使用方法是、環境条件によっては、多少の変更が必要となります。
- ★万田31号は、特殊肥料ですが、必要とする肥培管理などは十分に徹底して下さい。
- ★台風などで草勢が弱っている時には、5,000倍液を1~3日置きに2~3回連続散布する方法があります。

万田31号の使用方法（標準）

果菜類 <キュウリ>

使用時期	使用濃度 (希釈倍率)	使用回数	使用方法	使用目的
播種後	10,000倍	1回	かん水	発芽促進
本葉が出てから	10,000倍	7~10日おき 1~2回	葉面散布	根張り促進、初期生育促進 環境ストレスの耐性向上
定植時	10,000倍	1回	かん水	活着促進
定植後 ~	10,000倍	7~10日おき 1~2回	葉面散布	生育促進 環境ストレスの耐性向上
収穫開始 ~	8,000倍	10~15日おき 定期使用	葉面散布 かん水	品質と収量の向上 環境ストレスの耐性向上

散布量は、10a当り150g(収穫期)を基準としています。

- ★本使用方法是、環境条件によっては、多少の変更が必要となります。
- ★万田31号は、特殊肥料ですが、必要とする肥培管理などは十分に徹底して下さい。
- ★台風などで草勢が弱っている時には、5,000倍液を1~3日置きに2~3回連続散布する方法があります。

万田31号の使用方法（標準）

果菜類 <メロン>

使用時期	使用濃度 (希釈倍率)	使用回数	使用方法	使用目的
播種後	10,000倍	1回	かん水	発芽促進
本葉が出てから	10,000倍	7~10日おき 1~2回	葉面散布	根張り促進、初期生育促進 環境ストレスの耐性向上
定植時	10,000倍	1回	かん水	活着促進
定植後 ~	10,000倍	10日おき 1~2回	葉面散布	生育促進 環境ストレスの耐性向上
果実肥大期	8,000倍	10日おき 1~2回	葉面散布 かん水	品質と収量の向上 環境ストレスの耐性向上
収穫前	5,000倍	1回	葉面散布	品質向上

散布量は、10a当り150ℓ(収穫期)を基準としています。

- ★本使用法は、環境条件によっては、多少の変更が必要となります。
- ★万田31号は、特殊肥料ですが、必要とする肥培管理などは十分に徹底して下さい。
- ★台風などで草勢が弱っている時には、5,000倍液を1~3日置きに2~3回連続散布する方法があります。

万田31号の使用方法（標準）

果菜類 < スイカ >

使用時期	使用濃度 (希釈倍率)	使用回数	使用方法	使用目的
播種後	10,000倍	1回	かん水	発芽促進
本葉が出てから	10,000倍	7~10日おき 1~2回	葉面散布	根張り促進、初期生育促進 環境ストレスの耐性向上
定植時	10,000倍	1回	かん水	活着促進
定植後 ~	10,000倍	10日おき 1~2回	葉面散布	生育促進 環境ストレスの耐性向上
果実肥大期	8,000倍	10日おき 1~2回	葉面散布 かん水	品質と収量の向上 環境ストレスの耐性向上
収穫前	5,000倍	1回	葉面散布	品質向上

散布量は、10a当り150ℓ(収穫期)を基準としています。

- ★本使用法は、環境条件によっては、多少の変更が必要となります。
- ★万田31号は、特殊肥料ですが、必要とする肥培管理などは十分に徹底して下さい。
- ★台風などで草勢が弱っている時には、5,000倍液を1~3日置きに2~3回連続散布する方法があります。

万田31号の使用方法（標準）

果菜類 < カボチャ >

使用時期	使用濃度 (希釈倍率)	使用回数	使用方法	使用目的
播種後	10,000倍	1回	かん水	発芽促進
本葉が出てから	10,000倍	7~10日おき 1~2回	葉面散布	根張り促進、初期生育促進 環境ストレスの耐性向上
定植時	10,000倍	1回	かん水	活着促進
定植後 ~	10,000倍	10日おき 1~2回	葉面散布	生育促進 環境ストレスの耐性向上
果実肥大期	8,000倍	10日おき 1~2回	葉面散布 かん水	品質と収量の向上 環境ストレスの耐性向上
収穫前	5,000倍	1回	葉面散布	品質向上

散布量は、10a当り150ℓ(収穫期)を基準としています。

- ★本使用法は、環境条件によっては、多少の変更が必要となります。
- ★万田31号は、特殊肥料ですが、必要とする肥培管理などは十分に徹底して下さい。
- ★台風などで草勢が弱っている時には、5,000倍液を1~3日置きに2~3回連続散布する方法があります。

万田31号の使用法（標準）

果菜類 < イチゴ 育苗（親株移植～定植前） >

使用時期	使用濃度 (希釈倍率)	使用回数	使用方法	使用目的
親株移植時	10,000倍	1回	かん水	活着促進
移植後～	10,000倍	10日おき 定期使用	葉面散布	根張り促進、初期生育促進 環境ストレスの耐性向上
仮植え時	10,000倍	1回	かん水	活着促進
活着後～定植前	10,000倍	10日おき 定期使用	葉面散布 又は、かん水	品質と収量の向上 環境ストレスの耐性向上

果菜類 < イチゴ 本圃（定植時～収穫終了まで） >

使用時期	使用濃度 (希釈倍率)	使用回数	使用方法	使用目的
定植時	10,000倍	1回	かん水	活着促進
収穫開始まで	10,000倍	10～15日おき 定期使用	葉面散布	品質と収量の向上 環境ストレスの耐性向上
収穫期	10,000倍	10～15日おき 定期使用	葉面散布	品質と収量の向上 環境ストレスの耐性向上

散布量は、10a当り100%（収穫期）を基準としています。

- ★本使用法は、環境条件によっては、多少の変更が必要となります。
- ★万田31号は、特殊肥料ですが、必要とする肥培管理などは十分に徹底して下さい。
- ★台風などで草勢が弱っている時には、5,000倍液を1～3日置きに2～3回連続散布する方法があります。